

古城小だより

旭市立古城小学校
令和1年9月6日
NO. 10



豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子の育成

長い夏休みも終わりました。いよいよ2学期のスタートです。9月2日に始業式が行われましたが、子ども達の様子は、夏休みモードが抜けきらない様子で「大丈夫かな」と心配しました。(あくびが止まらない、声が出ない、反応が鈍い。)

それでも、給食が始まり、委員会活動が行われ、元気にグラウンドを走り回っています。3日には避難訓練、4日には読み聞かせ、5・6日は国語・算数検定も実施されました。稲刈り(5・6年)も行いました。日にちが進むごとにいつもの古城っ子の元気な様子が戻ってきています。

まだまだ、蒸し暑さが続く毎日です。熱中症の心配は今後も続くと思われまます。家庭では、児童の水分補給に必要な飲み物の準備を引き続きお願いします。生活の基本「早寝・早起き・朝ごはん」をよろしくお願いします。



夏休みにもたくさんさんの活躍がありました。



水泳指導



PTA バレー



旭市子ども議会

子ども議会に参加した6年荒井優菜さん、増田璃子さん。学校代表として「地域のごみ問題について」質問しました。堂々とした態度の発表は大変立派でした。

学力向上のために、学校と家庭が協力を！

古城小学校では、学力向上のための本校独自の取組として、「国語検定」「算数検定」を実施しています。今年も、7月、9月、12月、1月、3月の年5回実施します。今年7月の保護者アンケートより、検定の取り組み方について職員で話し合い、実施の仕方について「合格するまで取り組ませる。」という方向で実施することとしました。また、結果もクラスの状況により「学級通信などで伝えていく」ということになりました。

検定の問題は、漢字ドリルから50問・計算ドリルから20問出題されます。ですから、日常の宿題や家庭学習でドリル学習をしっかりと行うことによって検定に「合格」することができます。合格点は、80点ですが、満点を目指して取り組む児童が増えてきています。ドリルとは「反復練習」という意味です。検定に向けて反復練習を繰り返すことは、「家庭学習の充実」へも繋がると考えています。家庭学習で何をどう勉強してよいかわからないという場合は、繰り返しドリル学習に取り組ませてください。基礎基本がしっかりと身につくことは、全ての学習のベースとなります。9月の検定は、夏休み中の自主学習の取組が現れます。よく頑張れている児童が増えてきているようです。再検定は、来週行います。家庭のご協力、よろしくお願いします。



9月5日、5・6年生による稲刈り体験が行われました。地域に、そして、自分の家に田んぼがあっても、こういった経験をするのはなかなか難しいようです。

古城小力を入れる「ふるさと学習」には、干潟八万石の米作りは欠くことのできない地域教材です。また、小学校でしかできない体験です。この体験を通して、何に気づき、何を考えるかにより、地域を理解できるかと思えます。

田んぼの先生
菅井さん 月岡さん 長平さん 渡辺さん
鎌の使い方、稲の束ね方などを丁寧に教えていただきました。ありがとうございました。今年
は、コンバインで脱穀もやっていただきました。

ご意見・ご感想があればお願いします。